

ICT 通信 復活号

しばらくご無沙汰しておりました ICT 通信ですが今月から復活していこうと思います。

当院では感染対策の取り組みは常に現場目線で改善、改革を進めてきました。

感染対策を続けていて「継続は力なり」を痛切に感じます。うまくいってるなあと思わず少し気を緩めると、足元をすくわれる出来事が…。しかしそこはぐっところえます。

ラウンドで現場を見ていて、「あ～これなんとかできないかなあ～」と思っても、決してすぐその場で厳しく言うてはだめです。「何か工夫できないかしらね」「どうしたらできるかな」などそれぞれの現場で働いている人に考えてもらえるように働きかけます。

ラウンドは決して現場のあら探しではなく、共に患者さんにとって安全な医療を受けられる場を作り、私たちにとっても仕事がしやすい職場を作ることが目的です。

対策は自ら考えた方法なら続ける事ができます。その力を引き出すコミュニケーションスキルを身につける事は ICT の役割の中でとても重要ではないかと思えます。

少し前に話題になった「新幹線お掃除の天使たち」という本には私たちの取り組みにとっても良く似て、参考になることがたくさん書いてあります。新幹線の車両清掃をチームで行う会社通称テッセイの世界一の現場力、働く人々の創意工夫とモチベーション、それを行っている人たちはパートの普通のおばちゃんたち（失礼）です。

感染対策を行う人たちも現場で働く普通のナース、看護補助者、コメディカルたちです。

仕掛ける側に回って現場を改革しもっと笑顔あふれる病院を作っていきたいと思えます。

ICT 通信は持ち回りでさまざまな職種のメンバーが書いていきます。今後もよろしく願いします。